

地域密着型サービス評価の概要

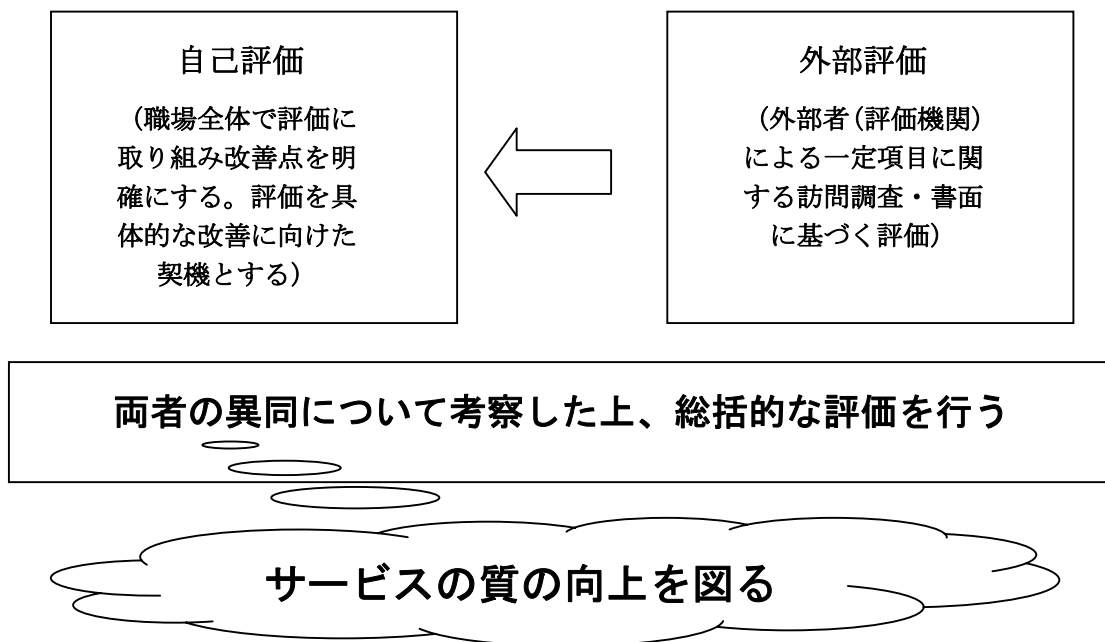
1 サービス評価を行う趣旨

評価作業の一連の過程を事業者が主体的に取り組み、評価結果をもとに具体的な改善や情報公開等に活かし、各事業所が良質なサービスの水準を確保し、向上を図っていくことを目的としている。外部評価については、外部評価の結果と自己評価の結果を対比し、異同について考察した上で総括的な評価を行うこととし、これによりサービスの質の評価の客観性を高め、サービスの質の向上を図る。

【評価のねらい】

- ・ 入居者及び家族の安心と満足を図る
- ・ ケアサービスの水準を一定以上に維持する
- ・ 改善点を明確にし、改善に向けた関係者の自発的努力と体制づくりを促す
- ・ 継続的に評価を行うことを通じて、関係者による自発的な研修等によるケアの向上を促す教育的効果
- ・ 事業所に対する社会的信頼性を高める

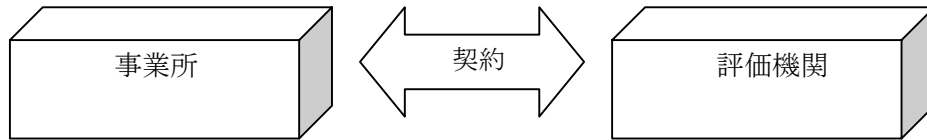
◎ 地域密着型サービスに対する評価は〇がいくつといったようなランク付けや画一化を図るものではありません！



【評価結果の活用】

- 職員全体の意識統一になるための対話の素材に！！
- 日頃見落としやすいサービス点検の機会に！！
- 日頃の職員の努力を社会（地域）に示す機会に！！
- 家族との具体的な対話の機会に！！ など。

2 外部評価の進め方



- ・事業所による自己評価の実施
- ・外部評価機関調査による外部評価実施

